

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 66

啓示録において (15)

新エルサレムにおける光を担うものとしてのキリストを表現する

聖書：啓 21:10-11, 23-24, 22:1-2, 5, エペソ 1:10, 22-23

- I. 啓示録第 21 章と第 22 章でわたしたちが見るのは、わたしたち神の子たちが、新エルサレムでともし火、光を担うものとしてのキリストを、彼の内側の光としての神の栄光をもって表現し、それによって諸国民が歩くということです：
- A. 新エルサレムには非受造の光としての神の栄光と、ともし火としての小羊があり、神聖な明るさを都全体に輝かせます—— 21:11, 23, 22:5 後半：
1. わたしたちはキリストの表現であり、キリストは彼の中に神を光として持っており、この光は、新エルサレム全体にキリストの中で輝く神ご自身であって、わたしたちに浸透します。わたしたちは光としての神ご自身に浸され、神を光とするキリストの表現となります—— 21:11, I ヨハネ 1:5, エペソ 5:8。
 2. 神の定められた御旨は完全に、わたしたちが団体の実体として共に建造されて、聖なる都となるという事柄です。光としての神は、ともし火としての小羊の内側から、都を通して輝き、神聖な光を拡散して、栄光としての彼ご自身を表現します——エペソ 1:11, 3:11, 啓 21:10-11, 23。
 3. 新エルサレムには、光、ともし火、拡散するものがあります—— 11, 23 節：
 - a. 光はともし火の中にあり、ともし火は拡散するものの中にあります——ヨハネ 14:20。
 - b. 光は父なる神であり、ともし火は子なる神であり、拡散するものはキリストのからだ、新エルサレムであって、神聖な光を諸国民、すなわち新エルサレムの周りで生活する民の上に輝かせます——啓 21:24。
 - c. 神聖な光としての神は、贖うキリストの内側で、彼を通して輝き、この輝きは都を照らして、都全体が光を担うものとなるようにします。この神の光を担うことは表現となり、この表現は神の目標です—— 10-11 節。
 - d. 最終的に、新エルサレム全体は神聖な光を拡散するものとなり、神聖な光を、都の外側の諸国民の上に拡散します—— 24 節。
 4. 将来、神の無限の栄光は、新エルサレムの中のともし火としてのキリストをもって、光として輝き、キリストが新天新地における新エルサレムの中心となって、永遠に至ることを表徴します—— 2, 11, 23 節。
 5. 諸国民は、新エルサレムから輝く光によって歩きます。これは、神の永遠の王国全体が、拡散するものとしての贖われた者たちを通して、贖う方の中にある神の栄光の輝きの下にあることを示します—— 2-4, 23-24 節, 11:15。
- B. 新エルサレムを中心とする新天新地において、すべてのものはキリストの中でかしらにつり上げられます。これは、エペソ人への手紙第 1 章 10 節の完全な成就とな

ります：

1. 新エルサレムの頂上で、キリストはかしらであり、彼の中に神を内容として持っています——啓 22:1-2：
 - a. 彼から命の水の川が流れて、命の木をもって彼のすべての子たちを供給します。そして、神の子たちである贖われた人たちは、命で満たされます—— 21:7。
 - b. 都全体はこの命を光として輝かし出し、全宇宙を代表する諸国民はこの都の光の中を歩きます—— 24 節。
 - c. キリストがその都の頂上でかしらとなっているので、すべてのものは彼の中で、からだである召会を通してかしらにつり上げられます。それは、新エルサレムにおいて究極的に完成します——エペソ 1:10, 22-23. 啓 21:2。
 - d. すべてのものはキリストの中で、召会を通してかしらにつり上げられます——エペソ 1:10, 22-23：
 - (1) これは、神の永遠の定められた御旨の究極的な完成です—— 11 節. 3:11。
 - (2) このようにすべてのものをかしらにつり上げることは、三一の神の永遠の表現となります。
 - e. 新エルサレムにある光は、あらゆるものを制御し、支配し、導き、秩序の中に保ちます——啓 21:11, 23. 22:5。
2. 新エルサレムを通して拡散される光は、すべてのものを照らして、すべてのものが光の中でかしらにつり上げられるようにします。このようにして、すべてのものはかしらにつり上げられます——エペソ 5:8-9, 13-14. 1:10。
3. すべてのものは、召会を通して、また召会のために、かしらにつり上げられます—— 22-23 節：
 - a. 神は一群れの人たちを必要とします。その人たちは、神の命の中で生活し、彼の命を自分たちの内側から輝かし出させて、すべてのものを命の光の中へともたらして、キリストの中でかしらにつり上げられるようにします—— I ヨハネ 5:11-12. ヨハネ 1:4. 8:12. エペソ 1:10。
 - b. かしらの命が彼のからだである召会を経過して、すべてのものに達するとき、すべてのものはキリストの中でかしらにつり上げられます——ヨハネ 1:4. 8:12. エペソ 1:10。
4. 神には遂行する過程があります。また神には召会の中でなすべき多くの働きがあります—— 2:10：
 - a. 神は、ご自身をキリストの中で、わたしたちの中へと命として造り込む必要があります。それは、わたしたちが光に満たされて、この光によって制御されるためです。その時、わたしたちは、一、調和を持ちます。そして、これは真の建造となります—— 3:16-17 前半. 5:8-9. 4:13, 16。
 - b. 神聖な光がわたしたちを通して輝くことの下で、すべての被造物は腐敗の奴隷状態から解放され、虚無から自由にされ、神の御子の栄光の自由の中へともたらされます——ローマ 8:18-21：
 - (1) 神の御子の栄光は、新エルサレムの輝きです。この新エルサレムの輝きは、神の御子の現れ、その栄光です——啓 21:10-11。

- (2) すべての諸国民は、この輝きの下にもたらされます。彼らは、この光の中を歩き、この光によって制御されます——イザヤ 4:2。
- (3) すべてのものは召会の一を通して輝き出る光によって照らされ、すべての人は召会の一の光の中でエホバを知り、すべての人はかしらの下にもたらされて、その一に到達します—— 11:9. ヨハネ 17:21-22. エペソ 4:13。
- c. これらすべては、神がわたしたちと共に、わたしたちを通して働くことにかかっています—— 3:16-17 前半：
- (1) 神はご自身をわたしたちの中へと命として造り込みつつあります。ですから、わたしたちは対処される必要があります、また神で浸潤され、浸透される必要があります—— I ヨハネ 5:11-12, 20。
- (2) 召会の中にいるわたしたちは一人一人、主が自分の中で働き、自分の中を照らし、自分を通して拡散されることに責任があります。キリストがわたしたちを通してご自身を拡散し出すことができはじめて、わたしたちは円熟します——エペソ 3:16-17 前半. 4:13. 5:8。

II. 啓示録第21章23節は、キリストの中心性と普遍性の明確な絵です：

- A. 神はキリストの中で、またキリストを通して輝きます。そして、キリストは新エルサレムの中で、また新エルサレムを通して輝きます—— 10-11 節。
- B. キリストが新エルサレムの中心となり、円周となり、あらゆるものとなるとき、キリストは光を担う方として、来たるべき永遠の中心性と普遍性となります—— 23 節。